

第2回介護予防サポーター交流大会(県地域リハビリテーション支援センターなど主催)が27日(高崎市イオンモール高崎で開かれた。13団体が介護

介護予防でいきいき

高崎 13団体が情報交換

予防活動を紹介するパネルを展示、体操の実演も行われ、大勢の福祉関係者が訪れた。転倒・認知症・閉じこもり予防や筋力アップ、栄養改善などをまとめて「介護予防」と呼ぶ。県の介護予防サポート育成事業は2006年度に始まり、これまで約5千人が初級を修了した。中級、上級もある。

高齢者が安心して暮らせる地域社会を実現するため、元気な高齢者が介護予防に取り組み、行政が支援する仕組みを目指している。交流大会では、いきいきサロンなどで行っている体操や筋トレ、歯磨き指導など高齢者が自立した生活を続けるための取り組みを紹介。カルタ、健康マージャンなどの実践例も



介護予防サポーターの実践例などが紹介された会場

あり、県内各地のサポーターが情報交換しな

がら交流を深めた。